

新規事業採択時評価結果（平成27年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全課
担当課長名：池田 豊人

事業の概要

事業名	地域高規格道路 大隅縦貫道Ⅰ期 主要地方道鹿屋吾平佐多線 吾平道路	事業区分	地方道	事業主体	鹿児島県				
起終点	自：鹿児島県鹿屋市吾平町下名 至：鹿児島県鹿屋市吾平町上名	延長	4.0 km						
<p>事業概要</p> <p>大隅縦貫道は、鹿屋市から錦江町を經由し、南大隅町に至る延長約50 kmの地域高規格道路である。 吾平道路は、大隅縦貫道の一部を構成する区間であり、平成26年12月に供用された串良鹿屋道路や国道220号等の現道利用区間と一体となって広域ネットワークを形成し、地域の産業・経済の活性化に大きく寄与する道路である。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>吾平道路は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道の線形不良箇所や冠水想定箇所を回避し、第一次緊急輸送道路としての機能を確保 ・現道の通過交通の排除や流入交通の分散により、死傷事故率の低減に資する道路である。 <p>全体事業費 27億円 計画交通量 4,400台/日</p>									
<p>事業概要図</p> <p>凡例</p> <table border="1"> <tr> <td>当該箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査中</td> <td></td> </tr> </table>						当該箇所		調査中	
当該箇所									
調査中									

関係する地方公共団体等の意見

鹿屋市など大隅地域4市5町で構成される大隅総合開発期成会等より大隅縦貫道の早期整備を要望されている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

—

事業採択の前提条件

便益が費用を上回っている。
地元自治体や地元団体から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行が可能な環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.5	総費用：25億円 （事業費：24億円 維持管理費：1.3億円）	総便益：39億円 （走行時間短縮便益：3.4億円 走行費用減少便益：3.7億円 交通事故減少便益：0.59億円）	基準年 平成26年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.5 (交通量-10%)	B/C=1.6 (交通量+10%)	
		事業費変動	B/C=1.4 (事業費+10%)	B/C=1.7 (事業費-10%)	
		事業期間変動	B/C=1.5 (事業期間+20%)	B/C=1.6 (事業期間-20%)	
事業の影響	評価項目		評価	根拠	
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	注目すべき影響はない	
		事故対策	◎	<p>通過交通の排除や流入交通の分散により、これらの交通に起因する死傷事故が減少。</p> <p>[死傷事故率] 【安全性の向上（事故の減少）】 ・並行現道区間：173件/億台km（現況）⇒91件/億台km（整備後） [47%減少] ※県内平均死傷事故率 54.2件/億台kmの約3.2倍</p>	
		歩行空間	—	注目すべき影響はない	
	社会全体への影響	住民生活	○	第二次救急医療施設「大隅鹿屋病院」へのアクセス向上 （鹿屋市吾平町麓～大隅鹿屋病院の所要時間13分⇒10分）	
		地域経済	○	鹿児島空港や九州縦貫自動車道へのアクセスの向上により、農畜産物の物流の効率化や観光客の増加が期待される。	
		災害	◎	冠水想定箇所を回避し、第一次緊急輸送道路の機能を強化 （現道の冠水時における緊急輸送道路を利用した吾平総合支所～鹿屋市役所の所要時間39分⇒13分）	
環境		—	注目すべき影響はない		
	地域社会	○	大隅半島南部地域と鹿屋市間の交流・連携の促進への寄与が期待される。		
事業実施環境		○	<p>・『かごしま将来ビジョン』において、重点的に推進する事業として位置づけ有り。</p> <p>・鹿屋市など大隅地域4市5町で構成される大隅総合開発期成会等より大隅縦貫道の早期整備を要望されている</p>		

採択の理由

事業主体である鹿児島県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.5と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、緊急輸送道路の機能強化、交通事故の削減、高次医療施設へのアクセス向上が図られるなど、当該事業の整備の必要性、効果は高いものと判断される。
以上により、本事業を平成27年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。